

第1章はじめに

▶ **策定の経緯**：東京2020大会開催決定以降のインバウンド急成長とコロナ禍による観光産業への打撃を経験した今、人々の価値観やライフスタイルも変化しつつあるこの転換期を新たなスタートと捉え、東京が持続可能な観光都市・ビジネスイベント開催都市へと進化を遂げ、今後も「世界から選ばれ続けるTOKYO」であるために、将来を見据えた観光の在り方と、そのためのTCVBの役割を再検討し、本計画をとりまとめた

▶ **計画期間**：
令和4(2022)年度から令和9(2027)年度までの6か年



▶ **持続可能な観光都市・ビジネスイベント開催都市の実現に向けて**：
地域経済や地域社会の維持・発展に広く貢献できることが、観光振興・ビジネスイベント誘致の意義と言える。観光が及ぼす環境等への負荷といった課題の解決を図りながらこの意義を体現し続けていくことが、東京を持続可能な観光都市・ビジネスイベント開催都市へと進化させていくことに繋がる。

▶ **TCVBが果たす役割**：
 ・東京全体をカバーする唯一の観光推進団体として、旅行者やビジネスイベントを東京に誘致
 ・観光やビジネスイベントに携わる多様な主体と自らが繋がり、主体間の交流を促進
 ・都の政策連携団体として、多様な主体と都との橋渡し役を担い、現場の声を踏まえた施策実現に繋げる
 ・持続可能な観光都市・ビジネスイベント開催都市としてのマーケティング/マネジメントを担う

第2章 中期経営計画を通じてTCVBが目指す方向性

- ▶ **推進する6つの柱**：
- 柱[1] 観光経済の復活に向けた事業者支援と国内外におけるプロモーションの推進**
観光事業者の支援／国内観光の需要喚起／東京の多様な魅力や安全・安心におけるアドバンテージ等を活かしたプロモーション／ビジネスイベントの早期回復を目指す取組
 - 柱[2] 安全・安心に配慮した受入環境や快適な滞在環境の整備**
新しい日常に対応した受入環境の整備／旅行者のニーズの変化に対応した快適な滞在環境の整備／安全・安心で魅力的な都市であることの情報発信／観光における危機管理の在り方
 - 柱[3] 観光やビジネスイベントにおける新たな事業・サービスの創出**
DXや5Gなど最新テクノロジーの活用事例の取り込み／Old meets Newにおける「New」の創出と発信／観光やビジネスイベントにおけるデジタル・通信技術等の導入及び活用を支援
 - 柱[4] 持続可能(サステナブル)な観光やビジネスイベント開催等を通じたSDGsへの貢献**
観光に関する最新動向の把握・共有／持続可能な観光の在り方に係る議論・意識向上・相互理解と取組の具体化／ビジネスイベント誘致でのSDGsに係る取組を発展／様々な活動を通じたアプローチ
 - 柱[5] 地域にコミットした観光・ビジネスイベントの振興**
地域の課題やニーズの把握／地域の実情に沿った事業展開／地域とのデータ共有／多摩・島しょへの旅行者誘致／ビジネスイベント拠点の魅力強化とグローバル人材の高度化支援
 - 柱[6] 観光振興ネットワークの強化とさらなる発展**
新たな課題に対して「オール東京」で対応するための観光振興ネットワークを強化・発展

▶ **事業領域別の構想**：海外旅行者誘致、ビジネスイベント誘致、観光情報の発信、地域の観光振興及び観光関連事業者の支援の5事業領域における、これまでの取組と今後の方向性

第3章 目指す方向性の実現のために

- 第2章に掲げる方向性の実現のために、今後TCVBが実行していく取組
- ▶ **都の観光振興施策の現場を担う**：
TCVBの持つ専門的な知識・経験や国内外に有するネットワークを活かし、公平性・公益性を確保しつつ都の観光振興施策の現場を担う
 - ▶ **都に対して企画機能を発揮**：
TCVBの専門性を活かしつつ、観光業界の声・ニーズを施策へ一層反映させるため、都に対して企画機能を発揮
 - ▶ **TCVBの独自事業を充実**：
現場に密着したTCVBならではの取組や、新たな課題の解決に向けた試行的な取組等を精力的に実施
 - ▶ **ネットワークの活性化**：
事業推進・企画機能の発揮双方において必要不可欠である、多様な主体との「ネットワーク」を活性化
 - ▶ **組織の基盤づくり**：
組織横断的な体制づくりや部署間での情報共有の仕組みづくり、DX等による業務の改善や効率化の取組、持続可能な社会を支える組織になるための活動を実施
 - **人材の育成と活用** 高い専門性の習得のための制度整備／多様性を考慮した働きやすい職場づくり
 - **財政基盤** 適切な予算執行管理／自立性と主体性の向上
 - **企画・調査** 共同研究等による知見共有／データ利活用
 - **賛助会員制度の運営** 会員との連携／業界ニーズの把握